

# 平成29年度 事業報告



## 9,785回

日本赤十字社は、つづける。

1877年 西南戦争  
1923年 関東大震災  
1985年 御巣鷹山航空機墜落事故  
1995年 阪神・淡路大震災  
2011年 東日本大震災  
⋮

はじめて救護を行った西南戦争以降、  
さまざまな災害や事故の現場に9,785回、  
救護班を派遣してきました。<sup>※1</sup>  
こうした活動は、皆さまの会費とご寄付によって支えられています。<sup>※2</sup>  
皆さまのあたたかい想いと共に。

これからも、つづける。  
人を救うことを。

救うことを、つづける。

※1 日本赤十字社災害救助活動報告書（平成28年度）より。 ※2 日本赤十字社災害救助活動報告書（平成28年度）より。

# 国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965 年(昭和 40 年)にウィーンで開催された第 20 回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

## 人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

## 公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

## 中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

## 独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

## 奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

## 単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

## 世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

## は じ め に

日頃から赤十字事業の推進につきまして、関係者各位をはじめ、多くの県民の皆様から多大なご支援とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

さて平成 29 年度におきましても、赤十字の使命である「いのちと健康をまもる」ための事業を県内各地で実施してきました。5 月の赤十字運動月間中のレッドライトアップに始まり、年間通じて、災害救護事業や救急法等の各種講習普及事業など様々な活動を行ってまいりました。特に 29 年度は新規事業として、地域住民の皆様を対象とした「防災教育プログラム」を開始し、地域コミュニティにおける「自助」「共助」の知識等を高め、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、県全体の防災力向上に努めました。

さらに、子ども達に学校教育現場で社会のために奉仕する精神を育んでもらうための青少年赤十字や、赤十字ボランティアの普及育成など、地域に密着した事業にも引き続き、取り組んでまいりました。

松山赤十字病院におきましては、平成 33 年秋のグランドオープンに先がけ、本年 1 月に地上 6 階地下 1 階の新病院北棟がオープンしました。県内における地域医療支援病院として、地域の医療機関・施設との連携のもとに救急医療、がん診療や周産期・小児医療など高度専門医療を提供することと考えています。今後も常に地域の患者様のニーズや信頼に応えるよう鋭意努力してまいります。

愛媛県赤十字血液センターにおいては、中国・四国ブロック血液センター管理のもと、更に運営体制を整え、若年層の献血離れに歯止めをかけるべく、県内各地の中学校・高等学校で献血の重要性を説き、広く若年層に献血の重要性を P R しました。また、400mL 献血や成分献血を推し進め、安全で安定的な血液の供給に努めております。

ここに、平成 29 年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 4 月

日本赤十字社愛媛県支部

# 目 次

1. 評議員会・監査	1
2. 社業振興	1
活動資金募集実績額、社業振興に伴う会議・研修会、赤十字思想の普及、 愛媛県赤十字有功会の活動、赤十字事業支援自動販売機設置の促進	
3. 災害救護事業	4
救護資器材の整備、災害救護体制、救護員の派遣、救護員の訓練、救護員研修会、 地区分区担当者及び防災ボランティア災害対応研修会 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金、救援金等募集活動、臨時救護	
4. 日本赤十字社防災教育事業	10
5. 赤十字各種講習	10
ワールドファーストエイドデー、救急法、健康生活支援講習、 幼児安全法、水上安全法	
6. 赤十字奉仕団	22
結成状況、事業概要	
7. 青少年赤十字	25
加盟状況、事業概要	
8. 保健福祉事業	29
赤十字巡回健康講座、ひだまり赤十字、ぬくもり子育て広場、 手つなぎ防災ひろば、赤十字健康大学	
9. 国際活動	34
10. 医療事業	35
11. 血液事業	36
12. 看護師養成	37
13. 役員	38

## 1. 評議員会・監査

### (1) 平成 28 年度会計監査・業務監査(6 月 5 日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の平成 28 年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの平成 28 年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 平成 28 年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 平成 28 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 平成 28 年度血液事業報告について

### (2) 平成 29 年度第 1 回評議員会(6 月 8 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 平成 28 年度一般会計歳入歳出決算について
- 第 2 号議案 平成 28 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第 3 号議案 平成 28 年度血液事業報告について
- 第 4 号議案 役員の欠員に伴う選任について

### (3) 平成 29 年度第 2 回評議員会(平成 30 年 2 月 15 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 平成 30 年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第 2 号議案 平成 30 年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第 3 号議案 平成 30 年度血液事業計画(案)について

## 2. 社業振興

日本赤十字社は、会員及び協力会員から拠出される活動資金によって、災害救護活動等さまざまな事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に町内会、自治会、奉仕団、法人の皆さまのご協力によって支えられています。

平成 29 年度は、活動資金の安定的確保を図るため、法人への勧奨強化、戸別訪問やダイレクトメールによる募集、寄付金付自動販売機設置の提案などを積極的に実施しました。

その結果、平成 29 年度は、186,874,621 円のご協力をいただきました。長引く経済不況は活動資金にも影響し、年々活動資金は減少傾向にあります。今後は企業とのタイアップを推進し、寄付金付自動販売機等による新たな活動資金募集の普及に努めてまいります。

活動資金募集に関する状況は、次のとおりであります。

(1) 活動資金募集実績額

市町名		目標額 (円)	実 績 額 (円)			対目標額(円)	達成率 (%)
			地区区分募集分	本社口座振替分	計		
市	松 山 市	66,170,000	48,100,736	1,301,000	49,401,736	△16,768,264	74.7
	今 治 市	22,577,000	19,242,183	662,000	19,904,183	△2,672,817	88.2
	宇和島市	11,202,000	9,196,695	140,000	9,336,695	△1,865,305	83.3
	八幡浜市	5,341,000	5,589,676	130,000	5,719,676	378,676	107.1
	新居浜市	16,504,000	11,789,455	245,000	12,034,455	△4,469,545	72.9
	西 条 市	15,829,000	13,516,087	84,000	13,600,087	△2,228,913	85.9
	大 洲 市	6,594,000	5,891,428	30,000	5,921,428	△594,000	91.0
	伊 予 市	5,630,000	4,831,162	79,000	4,910,162	△719,838	87.2
	四国中央市	12,474,000	13,518,898	92,000	13,610,898	1,136,898	109.1
	西 予 市	6,073,000	5,964,410	7,000	5,971,410	△101,590	98.3
	東 温 市	4,839,000	4,210,186	111,000	4,321,186	△517,814	89.3
	小計	173,233,000	141,850,916	2,881,000	144,731,916	△28,422,512	83.6
町	上 島 町	983,000	965,000	60,000	1,025,000	42,000	104.3
	久万高原町	1,369,000	1,376,300	15,000	1,391,300	22,300	101.6
	松 前 町	4,280,000	4,331,400	24,000	4,355,400	75,400	101.8
	砥 部 町	3,162,000	2,718,645	84,000	2,802,645	△359,355	88.6
	内 子 町	2,680,000	2,719,011	31,000	2,750,011	70,011	102.6
	伊 方 町	1,600,000	2,098,997	20,000	2,118,997	518,997	132.4
	松 野 町	559,000	615,000	0	615,000	56,000	110.0
	鬼 北 町	1,620,000	1,452,206	24,000	1,476,206	△143,794	91.1
	愛 南 町	3,316,000	3,042,000	0	3,042,000	△274,000	91.7
	小計	19,569,000	19,318,559	258,000	19,576,559	7,559	100.0
支 部	一 般	9,000,000	—	—	13,552,686	13,566,146	250.7
	ダイレクトメール	—	—	—	9,013,460	—	—
	小計	9,000,000	—	—	22,566,146	—	—
県合計		201,802,000	161,169,475	3,139,000	186,874,621	△14,848,807	92.6

(※病院への使途指定寄付金は除く。)

(2) 社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区区分職員研修会	4月19日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 平成29年度支部事業計画について 2. 社資募集について ・平成28年度社資募集実績について ・活動資金募集に伴う事務処理等について ・地区区分交付金について 3. 各種事業について

地区・分区長並びに地区・ 分区主管課長合同会議	平成 30 年 1 月 23 日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 平成 29 年度活動資金募集等について 2. 平成 30 年度活動資金募集目標額(案) について 3. 平成 30 年度支部事業計画(案)について 4. 地区分区における赤十字事業について
----------------------------	--	---

### (3) 赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力要請を図るとともに、赤十字運動月間中には、松山市役所別館、松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内バスの車内放送を行い、赤十字活動資金への協力要請を実施しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めました。

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| ①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行)  | 1,200 部(5 月と 12 月は 1,000 部追加) |
| ②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用) | 2,000 枚                       |
| リーフレット              | 10,000 枚                      |
| 広報用チラシ              | 378,315 枚                     |

### (4) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

平成 30 年 3 月末現在の会員数は、個人 77 名、法人 114 社、計 191 会員です。



### (5) 企業様の CSR 活動のお手伝い



愛媛県支部は、企業様の社会貢献活動の一環として、「赤十字活動支援自動販売機」や「募金箱の設置」「赤十字支援マーク」の促進を行っています。

気軽にできる社会貢献活動として、多くの企業様からご活用いただいております。



### 3. 災害救護事業

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号 9 により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

平成 29 年度も、台風や集中豪雨などの自然災害が多発しました。特に 7 月 5 日からの九州北部における大雨災害など全国各地での災害において、各県支部は発災直後から医療救護の調査や、救護班による巡回診療、健康支援活動等、継続的な活動を行いました。

#### (1) 救護資器材の整備

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、本年度、下記救護資器材の整備更新を行いました。

・インバーター発電機	1 台
・四つ折伸縮担架（アルミ製）	7 台
・炊き出し用移動かまど	1 台
・手動式吸引器（緊急用アスピレーター）	1 台
・災害救護用無線（400MHz）遠隔制御器 及び非常電源装置	1 式



#### (2) 災害救護体制



「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員（２班）、常備救護班要員（８班）を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

#### ①日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員

所 属	氏 名
日本赤十字社愛媛県支部	村田 芳和・相原 敬治・荒木 美喜
松山赤十字病院	中山 潤三・友澤 永子
愛媛県赤十字血液センター	佐野 悦朗・和泉元 守

#### ②日本赤十字社愛媛県支部常備救護班

班名	班 長	看護師長	看護師	主 事
1	新富 將央	加藤 裕子	岡田 裕子	片岡 智
			渡部 梓	井上 貴之
2	渡邊 陽祐	田丸 紀子	檜垣 みち子	志賀 奈緒子
			門脇 昌美	田中 寛高
3	上田 晃三	鶴原 真由美	桐野 智美	山村 里緒
			西岡 さつき	坂本 真吾
4	的野 る美	山下 弘子	三好 真由子	村上 博昭
			田中 邦央	河野 正豊
5	兼松 貴則	廣瀬 陽子	岡田 真理子	渡邊 晋
			清家 彩音	篠森 丞
6	志摩 隆之	中山 輝美	矢野 美智恵	福本 泰之
			露本 知津	小坂 晃弘
7	上村 太朗	塩崎 博子	石川 幸枝	長谷部 淳
			堀田 郁子	宮内 春菜
8	白石 猛	堀内 慈子	川添 導信	増田 夏海
			松原 恵理子	大野 純一

#### ③日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員

所 属	一 班	二 班
愛媛県赤十字血液センター	渡邊 雅士 柏木 靖也	平野 昇 友澤 勝



### (3) 救護員の訓練

#### ① 愛媛県総合防災訓練

- ・ 月 日 平成 29 年 11 月 5 日 (日)
- ・ 場 所 松山市北条「河野別府公園内 市民グラウンド」
- ・ 参加者 救護班一個班 6 名及び支部 3 名
- ・ 種 目 災害現場における救護訓練  
傷病者役として松山赤十字看護専門学校学生参加  
(本年度は松山市総合防災訓練と合同での訓練)

#### ③ 特殊災害対応訓練

- ・ 月 日 平成 29 年 9 月 8 日 (金)
- ・ 場 所 松山市中央公園野球場 (坊ちゃんスタジアム周辺)
- ・ 参加者 救護班一個班 6 名及び支部 3 名
- ・ 種 目 応急救護所における救護訓練

#### ④ 平成 29 年度日本赤十字社広島県・愛媛県・高知県各県支部

合同南海トラフ地震受援訓練

- ・ 月 日 平成 30 年 1 月 26 日 (金) ～27 日 (土)
- ・ 場 所 高知県高知市 「日本赤十字社高知県支部」「高知赤十字病院」  
「高知市立潮江中学校」
- ・ 参加者 救護班一個班 6 名及び・支部 3 名



日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、次のとおり開催しました。

#### ○研修会開催日及び受講者数

・平成 29 年 8 月 5 日（土）	8：30～17：00	47 名
平成 29 年 10 月 14 日（土）	8：30～17：00	45 名
平成 29 年 12 月 9 日（土）	8：30～17：00	31 名

#### ○研修会場及び内容

- ・会 場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・内 容
  - (1) 医療救護活動における通信・情報伝達・記録について
  - (2) 通信機器（無線・衛星電話）取扱いについて（演習）
  - (3) トリアージについて
  - (4) START 法による一次トリアージについて
  - (5) トリアージタグについて
  - (6) 出動シミュレーションについて
  - (7) 医療資器材の取り扱いについて
  - (8) 救護所内活動（医師・看護師・主事）について
  - (9) 救護員のこころのケアについて
  - (10) 机上訓練（参集から活動まで）
  - (11) 災害診療記録と避難所アセスメント
  - (12) 出動準備・災害時情報共有と発信



災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をする、愛媛県支部に登録しています赤十字防災ボランティアの方の、災害時における知識等の育成を目的に実施を行う。今回の研修会には、「愛媛県学生赤十字奉仕団」へも参加を呼びかけ、若い大学生の奉仕団員も参加をいただき、合同での研修会となった。

#### ○開催日及び参加者

・平成30年5月4日（日） 10:00～16:00 参加者 47名

○講習会場及び内容

- ・会 場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・研修内容

- ① 講演 「愛媛県の気象と防災情報」  
講師：松山地方気象台 観測予報管理官
- ② 講演・実技 「災害時における高齢者への生活支援」  
講師：日本赤十字社愛媛県支部福祉係長
- ③ 救護資材の取扱い及び支部救護物品見学  
衛星電話・無線機・バルーン投光機・担架等
- ④ 非常食体験  
ハイゼックス米の炊出しと試食



（6）臨時救護

西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等を派遣しました。7月には、九州北部豪雨災害の原因となった台風の影響を受け、石鎚山お山開き臨時救護も厳しい状況下での救護となりました。

また、本年は愛媛県において「<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ国体」「<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ大会」が開催され、臨時救護に医師23名・看護師23名が医療救護活動に従事しました。

29年度における実施状況は次のとおりであります。

行 事 名	日程(期間)	日数	派遣救護員延人数			取扱患者	備考
			医師	看護師	主事		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	4月10日	1	0	1	0	0	
石鎚山お山開き	7月1日～7月3日	3	0	9	0	33	成就社
	7月7日～ 7月10日	4	0	12	0		
	7月3日～7月6日	4	0	16	18	8	土小屋



松山まつり	8月11日～ 8月13日	3	0	3	0	4	
愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	10月10日	1	0	1	0	0	
愛媛スポーツ・レクリエーション祭	11月7日・11月11日	2	0	2	0	3	
愛媛県人権教育研究大会	11月7日	1	0	1	0	0	
合 計		19	0	45	18	48	

〈「<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ国体」「<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ大会」医師、看護師派遣一覧〉

日 程	内 容	場 所	医師派遣 人数	看護師派遣 人数
9月11日	水泳（水球）	アクアパレットまつやま特設プール	1	0
9月23日	総合リハーサル	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	2
9月30日	総合開会式	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	4
10月2日	テニス	松山中央公園テニスコート	1	0
	テニス	愛媛県総合運動公園テニスコート	1	0
10月3日	剣道（全種別）	愛媛県武道館	1	0
	自転車（トラック）	松山市中央公園多目的競技場	1	0
10月4日	テニス	松山中央公園テニスコート	1	0
	テニス	愛媛県総合運動公園テニスコート	1	0
10月5日	ボクシング	松前公体育館	0	2
10月6日	ボクシング	松前総合文化センター	1	0
10月7日	ボクシング	松前総合文化センター	1	0
	陸上競技（全種別）	愛媛県総合運動公園陸上競技場	2	0
10月8日	ボクシング	松前総合文化センター	1	0
10月10日	総合閉会式	愛媛県総合運動公園陸上競技場	2	4
10月27日	えひめ大会ボウリング	キスケボウル	1	1
10月28日	えひめ大会開会式	愛媛県総合運動公園陸上競技場	2	4
	えひめ大会陸上	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	1
10月30日	えひめ大会陸上	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	1
	えひめ大会閉会式	愛媛県総合運動公園陸上競技場	2	4
合 計			23	23

#### （７）災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者１人に１枚、緊急セットを原則として被災世帯１世帯に１個配布しました。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、１世帯につき見舞金 20,000 円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、１名につき弔慰金 20,000 円を贈呈しました。

贈呈状況は次のとおりであります。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	見舞金(円)	弔慰金(円)
松 山 市		12		80,000
今 治 市	80	18		40,000
八幡浜市	10	6		
新居浜市				40,000
伊 予 市	10			
四国中央市		6		
西 予 市				20,000
東 温 市				20,000
松 野 町				20,000
合 計	100	42	0	220,000

## 4. 日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、新たに全国各支部において「日本赤十字社防災事業」を展開いたしました。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測されます大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおけます「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や、赤十字奉仕団を対象とした、日本赤十字社防災教育事業を実施しています。

実施状況は次のとおりであります。

日程	場所	参加人数
10月17日	松野町富岡地区古市場集会所	15名
11月3日	四国中央市消防防災センター	56名

## 5. 赤十字各種講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催いたしました。

救急法等講習や救護活動、ボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、安全赤十字奉仕団の協力のもと、ワールドファーストエイドデーを開催しました。

### (1) ワールドファーストエイドデー

- ・ 月 日 9月9日（土）
- ・ 会 場 伊予郡松前町「エミフル MASAKI」
- ・ 内 容 救命手当・応急手当体験コーナー  
（成人・幼児に対する AED・包帯法等）  
展示コーナー（歴代の救護服・救護資器材・救援物資等展示）  
血圧測定・体脂肪測定コーナー・ぬりえコーナー・撮影コーナー



## （２）救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器（A E D）の使用法及び応急手当の普及に努めました。



### ①基礎講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月8日～9日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部	10
2	6月5日	大洲消防署長浜支署	2
3	6月15日	日本赤十字社愛媛県支部	50
4	7月24日	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	32



5	7月31日	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	31
6	8月14日	日本赤十字社愛媛県支部	36
7	8月26日	住友化学研修所 (新居浜市)	18
8	9月3日	日本赤十字社愛媛県支部	24
9	9月15日	日本赤十字社愛媛県支部	28
10	10月26日	日本赤十字社愛媛県支部	17
11	11月7日	日本赤十字社愛媛県支部	12
12	11月19日	愛媛県武道館 (松山市)	30
13	1月14日	日本赤十字社愛媛県支部	32
14	2月6日	日本赤十字社愛媛県支部	6
15	3月1日	日本赤十字社愛媛県支部	6
合 計			334

## ②救急員養成講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月16日～25日 (5日間)	日本赤十字社愛媛県支部	8
2	8月27日～9月2日	住友化学研修所 (新居浜市)	18
3	7月25日～28日 (4日間)	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	31
4	8月1日～4日 (4日間)	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	31
5	8月21日～24日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	28
6	9月24日～10月1日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	18
7	10月12・16・24日	日本赤十字社愛媛県支部	29
8	10月18日～20日	ウェルピア伊予	35
9	11月21日～30日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	19
10	1月21日～28日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	18
11	2月13日～16日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	20
合 計			255

## ③短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	4月11日	新居浜公民館	20
2	4月16日	西側分館 (松山市)	76
3	4月22日	松山短期大学	93
4	4月22日	松山短期大学	73
5	5月8日	松山大学薬学部	51
6	5月11日	松山市総合コミュニティセンター	50
7	5月11日	松山市総合コミュニティセンター	49
8	5月12日	松山市総合コミュニティセンター	55
9	5月13日	アイテムえひめ (2017年 EnjoyHonda) (松山市)	128
10	5月14日	アイテムえひめ (2017年 EnjoyHonda) (松山市)	322
11	5月15日	松山大学薬学部	47
12	5月19日	愛媛県立宇和島南中等教育学校	50
13	5月22日	愛媛県立松山商業高等学校	38
14	5月24日	新居浜市立垣生小学校	21
15	5月25日	愛媛大学附属高等学校	121
16	5月30日	松山市立雄新中学校	122
17	5月30日	松山市立雄新中学校	89
18	5月31日	愛媛大学教育学部附属小学校	28
19	6月2日	松山城南高等学校	115
20	6月4日	テクスポート今治	124
21	6月5日	松山市立雄新中学校	16
22	6月13日	愛媛県在宅介護研修センター (松山市)	32
23	6月15日	松山市立湯山小学校	87
24	6月16日	八幡浜市川上地区公民館	33
25	6月17日	惣開公民館 (新居浜市)	12
26	6月20日	大島開発総合センター (今治市)	25
27	6月23日	愛南町立長月小学校	29
28	6月23日	松山市立久枝小学校	41
29	6月26日	松山市立内宮中学校	35
30	6月27日	愛媛県立北条高等学校	25
31	6月27日	南宇和郡教育会館 (愛南町)	18
32	6月28日	愛媛大学附属高等学校	45
33	6月29日	松山東雲中学校・高等学校	29
34	7月4日	松山市立雄新中学校	124
35	7月4日	松山市立雄新中学校	92
36	7月5日	愛媛県立松山南高等学校	80
37	7月7日	松野町立松野中学校	106

38	7月11日	江戸岡地区公民館 (八幡浜市)	40
39	7月12日	松山市立南中学校	72
40	7月12日	松山市立南中学校	105
41	7月13日	愛光学園 (松山市)	51
42	7月18日	愛媛県立北条高等学校	44
43	7月21日	愛媛県立今治南高等学校	26
44	7月21日	愛媛県立松山市中央高等学校	46
45	8月1日	愛媛県生涯学習センター (松山市)	50
46	8月8日	伊方中央公民館 2階	17
47	8月8日	今治市立清水小学校	22
48	8月9日	松山大学 カルフル 3階	23
49	8月10日	ひめぎんホール別館 (松山市)	52
50	8月10日	松山市立雄新中学校	90
51	8月18日	愛媛県立松山市中央高等学校	42
52	8月23日	松山城南高等学校看護棟	44
53	8月29日	白浜地区公民館 (八幡浜市)	34
54	9月1日	まちコムスポット てくるん (松山市)	12
55	9月6日	日本赤十字社愛媛県支部	3
56	9月9日	エミフル MASAKI	254
57	9月12日	愛媛県水産会館 (松山市)	47
58	9月19日	松山大学	20
59	9月20日	今治市別宮公民館	20
60	9月26日	愛媛県立松山南高等学校	57
61	9月28日	日本赤十字社愛媛県支部	44
62	10月5日	松山市立南中学校	105
63	10月5日	松山市立南中学校	138
64	10月6日	新居浜市総合福祉センター	27
65	10月30日	今治市立日高小学校	92
66	11月6日	四国中央市立金生第一小学校	83
67	11月8日	今治市立吉海小学校	47
68	11月9日	今治市関前開発総合センター	32
69	11月9日	新居浜公民館	20
70	11月16日	新居浜公民館	18
71	11月10日	浮穴公民館 (松山市)	20
72	11月13日	今治市大三島保健センター	29
73	11月20日	済生会松山病院	25
74	11月27日	福助工業株式会社 (四国中央市)	22
75	11月28日	福助工業株式会社 (四国中央市)	14
76	12月5日	松山市立南中学校	100

77	12月5日	松山市立南中学校	97
78	12月6日	愛媛県在宅介護研修センター (松山市)	27
79	12月8日	四国中央市立中之庄小学校	152
80	12月18日	四国中央市松柏公民館	100
81	12月20日	ホテル花ゆづき (松山市)	22
82	1月17日	愛媛大学医学部 (東温市)	51
83	1月18日	松山センチュリーライオンズクラブ事務局	12
84	1月21日	愛媛県立中央病院	20
85	1月24日	宇和島市立岩松公民館	20
86	1月30日	四国中央市立三島小学校	78
87	2月5日	愛媛県赤十字血液センター	7
88	2月5日	愛媛県赤十字血液センター	12
89	2月13日	愛媛県赤十字血液センター大街道出張所	12
90	2月16日	松山城南高等学校	103
91	2月25日	今治市総合福祉センター	126
92	3月3日	カーブスはなみずき (松山市)	50
93	2月25日	ASRE 和えだまつ (松山市)	15
94	3月9日	新居浜公民館	28
95	3月15日	新居浜公民館	22
96	3月26日	新居浜公民館	26
合 計			5,468

#### ④救急員資格継続研修

番号	開催日	場 所	受講者数
1	2月10日	日本赤十字社愛媛県支部	44
2	2月11日	日本赤十字社愛媛県支部	16
3	2月12日	日本赤十字社愛媛県支部	18
4	2月18日	日本赤十字社愛媛県支部	7
合 計			85

### (3) 健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな老齢期を過ごすために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。



① 支援員養成講習

番号	期 日	場 所	受講者数
1	7月25日・27日 8月1日(3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	5
2	9月21日・ 10月18日(2日間)	日本赤十字社愛媛県支部	16
3	12月2日・3日 10日(3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	9
4	2月1日～7日 (4日間)	松山赤十字看護専門学校	29
5	2月13日～16日 (4日間)	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	24
6	3月5日～8日 (4日間)	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	28
合 計			111

②短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	4月20日	中村地区公民館 (伊予市)	76
2	4月27日	永木道場 (永木ふれあいサロン) (松山市)	21
3	5月15日	北条コミュニティーセンター (松山市)	76
4	5月17日	松山赤十字病院	17
5	5月17日	大洲市総合福祉センター (大洲市)	19
6	5月20日	恵久美集会所 (松前町)	68
7	5月22日	松山市ハーモニープラザ	29
8	5月29日	今治市大三島保健センター	33
9	5月30日	伊方町民会館	40
10	5月31日	日本赤十字社愛媛県支部	19
11	6月10日	日本赤十字社愛媛県支部	84
12	6月14日	日本赤十字社愛媛県支部	20
13	6月15日	八幡浜市 J A 日土出張所	19
14	6月16日	金栄公民館 (新居浜市)	45
15	6月20日	大島開発総合センター (八幡浜市)	25
16	6月21日	上高柳集会所 (松前町)	22
17	6月22日	上野地区公民館 (伊予市)	48
18	6月27日	松山赤十字病院	19
19	6月29日	グループホームいくし (松山市)	20
20	7月6日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	10
21	7月12日	愛媛看護研修センター (松山市)	17

22	7月14日	日本赤十字社愛媛県支部	17
23	7月28日	老人保健施設 シルビウス・ケアセンター（今治市）	15
24	7月31日	愛媛県警察学校（松前町）	80
25	8月10日	愛媛県在宅介護研修センター（松山市）	42
26	8月29日	宇和島市総合福祉センター	42
27	9月1日	まちコムスポット てくるん（松山市）	14
28	9月4日	松山赤十字病院	60
29	9月5日	松山赤十字病院	60
30	9月5日	瀬戸町民センター（伊方町）	51
31	9月6日	松山赤十字病院	40
32	9月6日	神山地区公民館（八幡浜市）	60
33	9月7日	松山赤十字病院	50
34	9月8日	松山赤十字病院	35
35	9月9日	エミフルMASAKI（松前町）	239
36	9月12日	東宇和教育会館（西予市）	9
37	9月13日	愛媛県生涯学習センター（松山市）	16
38	9月14日	今治市亀岡学習センター	14
39	9月20日	潮見公民館（松山市）	20
40	9月25日	東温市中央公民館	35
41	9月26日	三崎保健福祉センター（伊方町）	43
42	9月28日	今治市大西公民館	19
43	9月29日	内子町民会館	29
44	10月3日	俵津老人福祉センター（西予市）	24
45	10月4日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	15
46	10月5日	大洲市肱北公民館	72
47	10月11日	日本赤十字社愛媛県支部	39
48	10月16日	東長戸集会所（松山市）	27
49	10月19日	済生会西条特別養護老人ホーム	30
50	10月20日	双岩地区公民館（八幡浜市）	14
51	10月21日	松山市母子会ビル	22
52	10月24日	今治市波方公民館	19
53	10月26日	五郎丸集会所（松野町）	7
54	10月30日	今治市立日高小学校	92
55	10月31日	今治市波止浜公民館	15
56	11月1日	八坂公民館（松山市）	57
57	11月2日	愛媛県警察学校（松前町）	12
58	11月6日	四国中央市立金生第一小学校	83
59	11月8日	今治市立吉海小学校	47
60	11月9日	今治市関前開発総合センター	32

61	11月11日	今治市社会福祉協議会朝倉支部	30
62	11月13日	和気公民館 (松山市)	15
63	11月24日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	15
64	12月7日	松山市シルバー人材センター	21
65	12月12日	愛媛県総合科学博物館 (新居浜市)	12
66	12月13日	五十崎自治センター (内子町)	26
67	12月14日	堀江公民館 (松山市)	26
68	12月16日	上島町せとうち交流館 (上島町)	71
69	12月18日	四国中央市立松柏公民館	100
70	12月20日	宮窪公民館 (今治市)	28
71	12月22日	愛媛県歴史文化博物館 (西予市)	6
72	12月26日	西予市役所	20
73	1月10日	新居浜市生涯学習センター	30
74	1月13日	本村集会所 (松山市)	22
75	1月17日	今治市大三島保健センター	47
76	1月18日	西予市宇和文化会館	55
77	2月16日	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	27
78	2月17日	松山赤十字病院	142
79	2月27日	松山市母子会ビル	18
80	3月1日	伊予市総合保健福祉センター	67
81	3月4日	日本赤十字社愛媛県支部	43
82	3月5日	松山赤十字病院	20
83	3月6日	日本赤十字社愛媛県支部	26
84	3月6日	松山赤十字病院	15
85	3月7日	松山赤十字病院	20
86	3月8日	松山赤十字病院	25
87	3月8日	聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス	31
88	3月9日	松山赤十字病院	15
89	3月11日	松山市西側集会所	51
90	3月15日	保内町保健福祉センター (八幡浜市)	23
合 計			3,371

② 支援員資格継続研修

番号	月 日	場 所	受講者数
1	12月3日	日本赤十字社愛媛県支部	18
2	2月 1日	日本赤十字社愛媛県支部	8
合 計			26



#### (4) 幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



##### ① 支援員養成講習

番号	期 日	場 所	受講者数
1	6月17日～25日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	12
2	8月18日・22日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部	15
3	11月10日～ 29日(2日間)	日本赤十字社愛媛県支部	14
4	2月1日～8日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部	9
合 計			50

##### ② 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	5月 13日	生石保育園 (松山市)	40
2	5月 13日	アイテム愛媛 (松山市)	128
3	5月 14日	アイテム愛媛 (松山市)	322
4	5月 16日	松山赤十字病院	30
5	5月 17日	松山赤十字病院	28
6	5月 17日	愛媛保育園 (松山市)	35
7	5月 18日	松山赤十字病院	12
8	5月 19日	砥部町中央公民館	8
9	5月 19日	松山赤十字病院	23
10	5月 26日	道後聖母幼稚園 (松山市)	80
11	6月 2日	ひかり幼稚園 (新居浜市)	19

12	6月2日	子育て支援センター ゆめぼっけ (鬼北町)	28
13	6月4日	テクSPORT今治	124
14	6月6日	東温市中央公民館	27
15	6月19日	愛媛大学教育学部附属幼稚園 (松山市)	48
16	7月5日	日本赤十字社愛媛県支部	5
17	7月10日	コープえひめ本部 (松山市)	13
18	7月26日	今治市大三島保健センター	34
19	8月8日	四国中央市福社会館	9
20	9月9日	エミフルMASAKI (松前町)	254
21	9月27日	愛媛県男女共同参画センター (松山市)	15
22	10月2日	和泉保育園 (松山市)	11
23	11月13日	えひめこどもの城 (松山市)	8
24	11月20日	砥部町中央公民館	6
25	11月21日	旧今治コンピュータカレッジ (今治市)	6
26	11月21日	旧今治コンピュータカレッジ (今治市)	7
27	11月24日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」(松山市)	15
28	11月28日	松野町子育て支援センター	17
29	11月30日	コープえひめ本部 (松山市)	9
30	12月8日	四国中央市立中之庄小学校	152
31	12月13日	松山市シルバー人材センター (松山市)	23
32	12月19日	西条市シルバー人材センター	24
33	1月10日	日本赤十字社愛媛県支部	9
34	1月12日	松山東雲女子大学	24
35	1月15日	御荘文化センター (愛南町)	32
36	1月19日	松山東雲女子大学	22
37	1月20日	日本赤十字社愛媛県支部	94
38	1月30日	四国中央市立三島小学校	78
39	2月21日	新谷公民館 (大洲市)	13
40	2月22日	エンゼル幼稚園 (松前町)	34
41	2月15日	白鳩保育園 (今治市)	55
42	3月24日	平井保育園 (松山市)	20
43	3月24日	生石保育園 (松山市)	19
合 計			1960

### ③ 支援員資格継続研修

番号	月 日	場 所	受講者数
1	12月10日	日本赤十字社愛媛県支部	15
2	2月 5日	日本赤十字社愛媛県支部	7
合 計			22

### ④ 指導員養成講習

番号	期 日	場 所	受講者数
1	8月11日～27日 (5日間)	日本赤十字社愛媛県支部	9 (内県外1)

## (5) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助方法や応急手当の知識と技術の普及に努めました。



### ①救助員養成講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月8日～16日 (3日間)	松山大学御幸キャンパスプール・日本赤十字社愛媛県支部	16
2	7月19日～20日 (2日間)	伊予市五色浜海水浴場	13
合 計			29

### ②短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月11日	松山市総合コミュニティセンター	50
2	5月11日	松山市総合コミュニティセンター	49
3	5月12日	松山市総合コミュニティセンター	55
4	5月18日	松山市総合コミュニティセンター	68
5	7月18日	ウェルピア伊予	80
合 計			157

### ③救助員資格継続研修

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月8日	松山大学御幸キャンパスプール・日本赤十字社愛媛県支部	8

## 6. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

当支部では、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会と連携を取り、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、東予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により赤十字奉仕団の普及育成に努めました。また、若年層を赤十字運動に参加・協力に導く方策として、青少年赤十字メンバーや青年赤十字奉仕団員のOB・OGに声をかけ、個人ボランティアとして12名が登録し活動を始めました。

結成状況及び事業概要は次のとおりであります。

### (1) 結成状況

種 別	団 数	人 数
地域赤十字奉仕団	55	13,461
青年(学生)赤十字奉仕団	7	222
特殊赤十字奉仕団	3	268
合 計	64	13,916

#### ①地域赤十字奉仕団

奉仕団名			備考
市	松山市		2団
	内訳	松山市	
		松山市北条	
	今治市		11団
	内訳	今治市今治	
		今治市玉川	
		今治市波方	
		今治市大西	
		今治市菊間	
		今治市吉海	
		今治市宮窪	
		今治市伯方	
		今治市上浦	
		今治市大三島	
		今治市関前	

奉仕団名			備考
市	西予市		5団
	内訳	西予市明浜	
		西予市宇和	
		西予市野村	
		西予市城川	
		西予市三瓶	
	東温市		1団
	内訳	東温市	
越智	上島町		4団
	内訳	上島町魚島	
		上島町弓削	
		上島町生名	
		上島町岩城	
	久万高原町		4団
		久万高原町久万	

市	宇和島市		4団
	内訳	宇和島市宇和島	
		宇和島市吉田	
		宇和島市三間	
		宇和島市津島	
	八幡浜市		1団
	内訳	八幡浜市・八幡浜保内	
	新居浜市		1団
	内訳	新居浜市	
	西条市		3団
	内訳	西条市西条	
		西条市東予	
		西条市周桑	
	大洲市		2団
	内訳	大洲市大洲	
		大洲市肱川	
	伊予市		1団
	内訳	伊予市	
	四国中央市		3団
	内訳	四国中央市川之江	
		四国中央市伊予三島	
		四国中央市新宮	

上 浮 穴	内訳	久万高原町面河	
		久万高原町美川	
		久万高原町柳谷	
伊 予	松前町		1団
	内訳	松前町	
	砥部町		1団
	内訳	砥部町	
喜 多	内子町		1団
	内訳	内子町	
西 宇 和	伊方町		3団
	内訳	伊方町伊方	
		伊方町瀬戸	
		伊方町三崎	
北 宇 和	松野町		1団
	内訳	松野町	
	鬼北町		1団
	内訳	鬼北町	
南 宇 和	愛南町		5団
	内訳	愛南町内海	
		愛南町御荘	
		愛南町城辺	
		愛南町一本松	
		愛南町西海	

## ②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青 年 ・ 学 生	愛媛大学	
	松山大学	
	松山赤十字看護専門学校	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中
	愛媛県青年	休団中

## ③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特 殊	愛媛県アマチュア無線	
	愛媛県安全	
	愛媛県青少年赤十字賛助	



## (2) 事業概要

### ①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団中央委員会	6月1日～2日	東京都 本社	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会・総会	7月5日～6日	東京都 本社	1
HIV/AIDS ピア・リーダー養成研修会（青年奉仕団）	7月29日～30日	京都府 あうる京北	1
赤十字ボランティアリーダー研修会（青年奉仕団）	8月26日～28日	東京都 国立利根ビル記念青少年総合センター	1
赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月8日	東京都 本社	1
赤十字奉仕団中央委員会	6月1日～2日	東京都 本社	1

### ②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団 連絡協議会代表者会議	6月3日～4日	岡山県 岡山市	3
中国四国赤十字奉仕団協議会	10月5日～6日	岡山県 岡山市 「日本赤十字社岡山県支部」	1
中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月12日～13日	島根県 松江市	1
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11月3日～5日	高知県 高知市	3
中国・四国赤十字奉仕団研修会	11月15日～17日	愛媛県 松山市 「えひめ共済会館」	3

### ③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月25日	日赤愛媛県支部	50
青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	5月27日	日赤愛媛県支部	28
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月18日	えひめ青少年ふれあいセンター	234
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会役員会	1月31日	日赤愛媛県支部	10
愛媛マラソン救護ボランティア	2月4日	松山市	27
中予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会	2月9日	愛媛県支部	37
赤十字手つなぎボランティア	5月を中心に年間を通して	県下各地	7,157

## 7. 青少年赤十字

青少年赤十字は、児童・生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

当支部では、愛媛県教育委員会及び愛媛県青少年赤十字指導者協議会等と連携し、指導者講習会、高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター、研究会等を実施するとともに、「愛媛県青少年赤十字だより」(年3回発行)を発行し、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」児童・生徒の育成に努めています。

また、青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりであります。



### (1) 加盟状況

29年度 新加盟校 27校(保9・幼4・小9・中5)

※ ◎印は新加盟、○印は再加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	11	幼	愛 和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上 分	妻 鳥	三 島
			中曾根	中之庄	寒 川		
		中	三島西				
新居浜市	8	幼	ひかり				
		小	惣 開	若 宮	垣 生	神 郷	泉 川
		中	西	泉 川			
西 条 市	11	保	東予中央 橘	田 野	◎小松西	◎中川さくら	◎めぐみ
		小	石 根	三 芳	中 川		
		中	西条北				
		高	西 条				
		保	白 鳩				
今 治 市	43	幼	しまなみの杜	晴 心	空と海		
		小	吹 揚	別 宮	常 盤	近 見	立 花
			桜 井	富 田	清 水	日 高	乃 万
			波止浜	鳥 生	国 分	朝 倉	鴨 部



			九 和	波 方	大 西	亀 岡	菊 間
			◎吉 海	宮 窪	◎上 浦	◎大三島	岡 村
		中	日 吉	近 見	立 花	桜 井	南
			西	北 郷	朝 倉	玉 川	大 西
			菊 間	大 島	○伯 方	◎大三島	
上 島 町	7	小	魚 島	弓 削	生 名	岩 城	
		中	魚 島	弓 削	岩 城		
松 山 市	81	保	◎生 石	堀 江	◎もものはな	えひめ乳児	こどものくに
			◎太山寺	◎ひよこ	◎虹のそら		
		幼	愛大附属	坂 本	◎あ い	愛 媛	愛媛星岡
			さくら	大 護	道後聖母	番 町	松山星岡
			桃 山	コイノニア			
		小	愛大附属	番 町	味 酒	八 坂	東 雲
			新 玉	雄 郡	素 鷲	清 水	堀 江
			潮 見	久 枝	和 気	三津浜	宮 前
			高 浜	味 生	桑 原	生 石	垣 生
			道 後	湯 築	余 土	湯 山	伊 台
			◎久 米	たちばな	椿	味生第二	さくら
			みどり	福 音	姫 山	浅 海	難 波
			立 岩	正 岡	北 条	河 野	栗 井
			中 島				
		中	雄 新	鴨 川	内 宮	津 田	◎余 土
			久 米	南	北条北	中 島	松山東雲
		高	愛大附属	北 条	松山東	松山南	松山北
			松山商業	松山工業	新 田	松山聖陵	松山東雲
東 温 市	21	保	南吉井	双 葉	拝 志	南吉井第二	川 内
			上 林				
		幼	重 信	北吉井	川 上	東 谷	西 谷
		小	北吉井	南吉井	拝 志	上 林	川 上
			東 谷	西 谷			
		中	重 信	川 内			
伊 予 市	13	小	南山崎	北山崎	郡 中	伊 予	中 山
			佐礼谷	下 灘	由 並	翠	
		中	港 南	◎中 山	双 海		
		高	伊予農				
松 前 町	5	幼	エンゼル				
		小	北伊予	岡 田	松 前		
		高	伊 予				
砥 部 町	7	幼	麻 生	宮 内			
		小	麻 生	宮 内	砥 部	広 田	
		中	砥 部				
久万高原町	11	小	明 神	◎久 万	畑野川	直 瀬	○父二峰
			◎面 河	◎仕七川	美 川	柳 谷	
		中	◎久 万	美 川			

大 洲 市	22	保	大 洲	喜 多	栗 津	菅 田	新 谷
			三 善	南久米	大 成	肱 南	肱 北
			徳 森	五 郎	大 和	白 滝	長 浜
			肱 川				
		幼	大 洲	久 米	平 野		
		小	三 善	栗 津			
		中	大洲東				
内 子 町	4	幼	内 子				
		小	石 畳	天 神	小 田		
八 幡 浜 市	10	小	松 蔭	白 浜	神 山	千 丈	日 土
			川 上	双 岩	喜須来	川之石	宮 内
伊 方 町	9	小	伊 方	水ヶ浦	九 町	三 机	大 久
			三 崎				
		中	伊 方	瀬 戸	三 崎		
西 予 市	27	保	◎西予市俵津	西予市石城	西予市多田	うわまち南	うわまち東
			宇 和	西予市野村			
		幼	野 村	惣 川	三 瓶		
		小	明 浜	多 田	中 川	石 城	宇和町
			皆 田	田之筋	野 村	大野ヶ原	惣 川
			城 川	三 瓶			
		中	明 浜	宇 和	野 村	城 川	三 瓶
宇 和 島 市	11	幼	◎伊 吹	◎村 井			
		小	明 倫	宇和津	鶴 島	住 吉	高 光
			成 妙	三 間	二 名		
		高	宇和島東				
松 野 町	3	小	松野東	松野西			
		中	松 野				
鬼 北 町	3	小	好 藤	三 島	近 永		
愛 南 町	26	保	家 串	柏	御 荘	長 月	長 崎
			はまゆう乳児	城 辺	緑	一本松	◎船 越
		小	柏	中 浦	平 城	長 月	城 辺
			中 浦	僧 都	久 良	東 海	一本松
			◎篠 山	福 浦	船 越		
		中	御 荘	城 辺	◎篠 山		



校 種	校(所・園)数	メンバー数
保 育 所	54	3,785
幼 稚 園	35	4,967
小 学 校	177	46,650
中 学 校	52	14,060
高 等 学 校	15	1,549
計	333	71,011

## (2) 事業概要

### ①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6 月 29 日～30 日	東京都 本社	1
青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会	7 月 23 日～25 日	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター	1
青少年赤十字中央指導者講習会	11 月 25 日～26 日	東京都 本社	1
青少年赤十字指導主事研究会	1 月 10 日～11 日	東京都 本社	2
青少年赤十字高校生ステージ・センター	3 月 22 日～26 日	山梨県 東照館	2

### ②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
四国ブロック青少年赤十字高校生研究協議会	8 月 18 日～20 日	徳島県 徳島市	7
中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長及び担当者会議	10 月 24 日～25 日	徳島県 徳島市	台風のため 中止

### ③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	4 月 21 日	日赤愛媛県支部	30
第 1 回青少年赤十字常任委員会	5 月 13 日	日赤愛媛県支部	20
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5 月 20 日	日赤愛媛県支部	9
第 1 回高等学校青少年赤十字協議会	5 月 20 日	日赤愛媛県支部	66
青少年赤十字指導者講習会	7 月 26 日～27 日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	20
青少年赤十字高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター	7 月 29 日～31 日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	50
第 2 回青少年赤十字常任委員会	8 月 25 日	日赤愛媛県支部	20
第 2 回高等学校青少年赤十字協議会	10 月 28 日	日赤愛媛県支部	47
第 59 回青少年赤十字研究会	11 月 2 日	松山市 みどり小学校	86
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11 月 18 日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	234
第 3 回青少年赤十字常任委員会	2 月	日赤愛媛県支部	18
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	7,157
愛媛県青少年赤十字だより	年 3 回(5・9・1 月)	各 4,000 部発行	

## 8. 保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施いたしました。

### (1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師による講演・個別健康相談、看護師による生活指導、血圧測定、体脂肪測定、検尿等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	開催日	場所	演題	講師	参加者数
1	7月14日	宇和島市 総合福祉センター	生活習慣病予防について (心臓の病気・脳梗塞予防について) 生活習慣病を予防しよう	内科部長 福岡 富和 看護師 勝田 有美	80
2	7月19日	八幡浜市文化会館 (ゆめみかん)	膝の痛みと膝の病気 について ロコモを予防しよう	整形外科副部長 江口 明生 看護師 村上 央	156
3	8月9日	日吉地区公民館 (今治市)	認知症について 認知症予防と対応	精神内科部長 池添 浩二 看護師 岩井伊千恵	42
4	8月30日	生涯学習センター (伊方町)	生活習慣病について 日常生活上の注意	健診部長 村上 一雄 看護師 森 尚子	50
5	12月4日	四国中央市 福祉会館	転倒予防と介護予防について	リハビリテーション科 技師長 定松 修一 看護師 倉橋 智彦	56
6	12月6日	西予市野村 保健福祉センター	老化と皮膚の病気について	皮膚科部長 南 満芳 看護師 瀬野 忍	57
7	2月19日	新居浜市	薬の上手な使い方	薬剤部長 仙波 昌三	

		総合福祉センター		看護師 田中 伸枝	68
合 計					509

## (2) ひだまり赤十字

高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、ストレッチ体操、レクリエーション、血圧測定、介護相談等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	月 日	場 所	参加者数
1	6月16日	金栄公民館 (新居浜市)	45
2	10月26日	延野々五郎丸集会所 (松野町)	7
合 計			52

## (3) んくもり子育て広場

乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、子どもの食育・薬の使い方・虫歯予防・ベビーダンスなどから、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	開催日	場所	演題	派遣講師	参加者数
1	6月 2日	子育て支援センター ゆめぽっけ (鬼北町)	子どもの虫歯予防 幼児安全法短期講習	歯科衛生士 : 河本 京子 幼児安全法 : 富永 福美	28

2	11月28日	子育て支援センター (松野町)	子どもの食育 幼児安全法短期講習	管理栄養士 : 井上 悠季 幼児安全法 : 若木 瑞 幼児安全法 : 荒木 美喜	17
3	1月15日	御荘文化センター (愛南町)	子どもの薬の使い方 幼児安全法短期講習	薬 剤 師 : 兵頭 祐子 幼児安全法 : 若木 瑞 幼児安全法 : 荒木 美喜	32
合 計					77

#### (4) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を体験しました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりであります。

奉仕団及び加盟校	月 日	場 所	参加者数	
四国中央市川之江赤十字奉仕団 四国中央市立金生第一小学校	11月6日	四国中央市立金生第一小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	11 44 5 23 0 0 2 85
今治市吉海赤十字奉仕団 今治市立吉海小学校	11月8日	今治市立吉海小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	15 13 4 15 0 0 2 49
今治市関前赤十字奉仕団 今治市立岡村小学校	11月9日	今治市 関前開発総合センター	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 2 2 18 0 0 2 34



四国中央市伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立中之庄小学校	12月8日	四国中央市立中之庄小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	8 121 10 13 0 0 2 154
四国中央市伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市松柏小学校	12月18日	四国中央市松柏公民館	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 83 4 3 0 0 2 102
四国中央市伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	平成30年 1月30日	四国中央市立三島小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	32 37 4 5 0 0 2 80
			計	504



長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、平成29年度は「知っておきたい、人に教えたい健康学」をメインテーマとして、医師や看護師等が講演を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

開講日	演 題	講 師	参加者数
9月16日	転倒予防と介護予防について	リハビリテーション科 技師長 定松 修一	183
10月7日	生活習慣病予防について	健診部長 村上 一雄	164



11 月 18 日	薬の上手な使い方	薬剤部副部長	村上 通康	143
12 月 2 日	眼の老化と病気について	第一眼科部長	児玉 俊夫	160
1 月 20 日	老化と皮膚の病気について	皮膚科部長	南 満芳	155
2 月 17 日	健康長寿のすすめ	日本赤十字社愛媛県支部 事業推進課福祉係長	荒木 美喜	142
合 計				947

## 9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

### ○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成23年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国9県支部はこれらの事業に対し、総額700万円(当支部負担770千円)を援助しました。



バングラデシュの運用研修にて簡易水道の設置方法を学ぶ参加者©BDRCS

## 10. 医療事業

大正2年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成26年度から新病院建設事業（1期～3期）を進めており、昨年9月末に1期工事が竣工し、本年1月に北棟がオープンしました。放射線部門には、PET-CT、リニアックを始め最新の機器を整備、また中央手術室部門には、ハイブリッド手術室やバイオクリーン手術室を整備しており、より質の高い医療が提供できるものと考えております。

現在は、2期工事の開始に先立ち、既存建物の一部解体工事を施工しています。解体工事完了後に、主に病棟部門となる10階建の南棟建設に着手し、平成33年10月のグランドオープン进行予定しております。

【基本理念】 人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

- 【基本方針】
1. 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
  2. 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
  3. 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
  4. 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
  5. 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
  6. 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
  7. 健全経営の維持に努めます。

【病院概要】（平成29年度実績）

許可病床数 / 632 床

診療科目数 / 31 診療科

職 員 数 / 1,489 人（医師 198 人・看護師 762 人・その他 529 人）

患 者 数 / （外来）延患者数 389,832 人 ・ 1 日平均 1,604.2 人  
（入院）延患者数 190,733 人 ・ 1 日平均 522.6 人



平成30年3月末現在（北棟）



ハイブリッド手術室



PET-CT



平成33年新病院完成予定

## 1 1. 血液事業

当支部においては、昭和 40 年 3 月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に対処してまいりました。

【基本理念】 愛媛県赤十字血液センターは、人間愛の赤十字精神に基づき、献血による安全な血液を、患者様にいつでもご提供できるように努めます。

平成 29 年度献血者数は次のとおりです。

献血種類	献血者数
200m L 全血献血	58 人
400m L 全血献血	37, 238 人
血漿成分献血	5, 471 人
血小板成分献血	5, 417 人
合 計	48, 184 人



## 1 2. 看護師養成

当支部においては、松山赤十字看護専門学校を開設し、赤十字の理念に基づき、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護師を育成しています。

赤十字看護師として、国内外の救護活動においても力を発揮できる救護看護師、また広く社会の発展に貢献できる看護実践者の育成をめざしています。

養成人員は次のとおりであります。(平成 29 年度在学学生)

2 年生	3 年生	計
29 人	44 人	73 人



第 104 回卒業式 (平成 30 年 3 月 2 日)



災害救護演習 (平成 29 年 9 月 28 日)

なお、今後の看護師養成方針については、平成 25 年 3 月の「日本赤十字社看護基礎教育体制の再構築検討会報告書 (日本赤十字社看護基礎教育体制の再構築に関する検討会)」を受け、将来に向けた新たな形での看護師養成を行うこととしています。

このため、松山赤十字看護専門学校は、平成 29 年度を学生募集の最終年度とし、平成 29 年度入学生が卒業する平成 30 年度をもって閉校する予定としています。



# 13. 役 員

(平成30年4月1日現在)

役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中 村 時 広	愛媛県知事
副 支 部 長	山 口 真 司	愛媛県保健福祉部長
〃	大 城 一 郎	愛媛県市長会会長
〃	清 水 雅 文	愛媛県町村会長
監 査 委 員	西 泉 彰 雄	松山市副市長
〃	橋 本 顕 治	八幡浜市副市長
〃	水 野 邦 洋	公認会計士
地区選出評議員	福 山 勝 幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	山 岡 弘 和	松山市社会福祉担当部長
〃	西 市 裕 二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	結 田 静 夫	今治市連合自治会副会長
〃	日 野 弘 子	波止浜地区婦人会会長
〃	山 本 一 憲	宇和島市和霊公民館副館長
〃	菊 池 清 之	八幡浜市社会福祉協議会元会長
〃	鈴 木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	伊 藤 優 子	新居浜市議会議員
〃	徳 永 米 子	西条市周桑赤十字奉仕団委員長
〃	二 宮 賢一郎	大洲市肱川赤十字奉仕団委員長
〃	宮 本 和 彦	伊予市地区広報区長会長
〃	石 川 祐 子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	河 野 敏 雅	西予市社会福祉協議会長
〃	伊 達 知 元	東温市区長会長
〃	横 川 武 広	上島町社会福祉協議会会長
〃	高 山 稔 明	久万高原町副町長
〃	中 矢 博 史	松前町元副町長
〃	上 田 文 雄	砥部町副町長
〃	小野植 正 久	内子町副町長
〃	濱 松 爲 俊	伊方町副町長
〃	須 山 定 保	松野町副町長
〃	井 上 建 司	鬼北町副町長
〃	岡 田 敏 弘	愛南町副町長
支部長選出評議員	佐 伯 要	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	中 山 紘治郎	愛媛県社会福祉協議会会長
〃	本 田 元 広	愛媛経済同友会代表幹事
〃	宇 高 英 治	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三 好 康 子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	西 泉 彰 雄	松山市副市長
〃	菊 池 清 之	八幡浜市社会福祉協議会元会長
〃	鈴 木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	三 好 康 子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	菊 池 清 之	八幡浜市社会福祉協議会元会長

施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電話番号
日 本 赤 十 字 社 愛 媛 県 支 部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目 3 番 40 号	089-921-8603 945-6792
松 山 赤 十 字 病 院	〒790-8524 松山市文京町 1 番地	089-924-1111
松 山 赤 十 字 看 護 専 門 学 校	〒790-0823 松山市清水町 3 丁目 90	089-924-1112
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町 80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大 街 道 献 血 ル ー ム	〒790-0004 松山市大街道 1 丁目 4-17	089-932-0900